

ニュースリリース
報道関係者各位

2017年 7月 7日

一般家庭に潜む<謎の生命体>を潜入調査！表面だけで計 10,000 匹超え!?
「一人暮らしアパート」vs「快適な高級マンション」の結果が衝撃的だった!
～アース製薬がダニ繁殖の脅威を伝える WEB ムービーを公開～

アース製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：川端克宜）は、これまで培ってきた企業資産とデジタルの技術をかけあわせて、お客様の生活をサポートする新プロジェクト『Earth Innovation Project』の一環として、2017年7月7日に日常に潜むダニ繁殖の脅威を伝える動画「<謎の生命体>潜入調査 | 一人暮らしアパート vs 高級マンションの対決結果が衝撃的！」をダニ対策サイト「Danny」と YouTube 公式チャンネルにて公開致します。



アース製薬はこれまで、正しいダニ対策の情報サイト「Danny」の公開やマスコミを対象とした「ダニ対策セミナー」を通じて、正しい情報を発信し、ダニ対策やダニ・アレルギーに関する啓発を行って参りました。今回は実際に、一般家庭にダニの潜入調査を行うWEB ムービーの発信を通して、ダニに対してさらなる正しい理解の促進を図ります。

■ストーリー

調査隊が<謎の生命体>の潜入調査を実施！その実態が明らかに！

「高級マンションに住む主婦」と「アパートで一人暮らしをする男性」から、「謎の生命体の調査依頼」を受け、それぞれの家庭で潜入調査を開始する場面からストーリーは始まります。調査中、方位磁石が突然狂い出したり、ジャングル（アパート）の中で蛇（タコ足配線）に隊員が足を取られるなど多数の困難に直面。そんな中ついに<謎の生命体>の生け捕りに成功！専門家監修のもと調査を行った結果、その生命体は「大量のダニ」であることが判明。いつも使用している敷布団やカーペット・ソファ等の表面にはもの凄い数のダニが発生！そして今回の調査では、快適なはずの「高級マンション」の方に、ダニが多いという衝撃の事実も明らかに！暗い場所を好むダニなら内部にはもつというはず…と驚きを隠せない住人たち。一見清潔で快適な住宅にもダニは存在するという事実、普段の生活の中で大量のダニと共存している恐怖、ダニの繁殖力の強さを、臨場感のある映像で描いています。



■動画 URL

- 「Danny」 ホームページ：<http://danny.press/movie/3/>
- YouTube 公式チャンネル：https://youtu.be/_YcP6_n1gzI

アース製薬は今後も動画やセミナー、ダニ対策の情報サイト「Danny（<http://danny.press>）」を通じて正しいダニ対策の情報を広めていきます。

■ダニ潜入調査の結果

今回の WEB ムービーに登場するダニの数は、ダニ・アレルギー研究の専門家白井秀治先生監修のもと、撮影させて頂いた一般家庭から実際に採取を行ったダニのサンプルを、アース製薬の赤穂研究所にて調査した結果を使用しています。

【調査概要】

- ・調査機関: アース製薬株式会社
- ・調査時期: 2017年5月23日～6月14日
- ・調査方法: 男性が一人暮らしを行う賃貸アパートと、6人で暮らす主婦の住む高級マンションそれぞれの、各採取エリアについて、約50×50cmの同面積のエリアを、市販の回転粘着式クリーナーを使用し、1つの採集エリアに対して1枚ずつ、粘着力が弱くなるまで往復させ、毛髪や屋内塵などとともにダニ類を採取
- ・参考文献: 『回転粘着式クリーナーのダニ密度調査への応用』
(橋本知幸・田中生男 日本環境衛生センター環境生物部・2006年)
- ・調査結果:

一人暮らしアパート(男性)	表面全体の推計のダニ数	表面全体の推計のダニ数	高級マンション(主婦)
敷布団	2091	4524	ベッドマットレス
カーペット	1844	2067	カーペット
座椅子	205	4704	ソファ
お風呂マット	431	103	ぬいぐるみ
トイレマット	159	74	クッション B
クッション	11	44	クッション A
上記合計	4741	11516	上記合計

※上記の数値は、あくまでも今回の調査により採取された数値からの推計値で、家全体のダニの数値ではありません。

■専門家によるコメント



環境アレルギー info and care 代表取締役

白井秀治 先生

室内環境アレルギーとその対策の専門家。NPO 東京アレルギー・呼吸器疾患研究所に所属し、環境アレルギーの評価や対策に関わる研究等の学術活動を行う。テレビ出演や新聞取材記事多数。

<コメント>

私たちは、気密性・断熱性の高い住居内で、様々なインテリア用品に囲まれ、快適で豊かな生活ができます。しかしこのような住まいは、ダニが一年を通して増加しやすい環境になっているとも言えます。ダニはとても小さな生き物で、肉眼ではその存在に気がつくことは難しいものです。そのため、知らず知らずのうちにダニが増えている、ということもあります。ダニの増加には、住まい方や所有するインテリア用品の種類、それらへのお手入れなど、管理の状態が関係します。住まいの中でダニが増えている場合、それに伴いダニのフン・死骸といった小さなホコリも増えてきます。それらはアレルギーの原因となるリスクが指摘されているため、ダニとダニのフンや死骸を減らすためのケアがとても大切です。

消費者の方のお問合せ
アース製薬株式会社 お客様窓口
0120-81-6456

■ストーリーボード



(NA)
本当にいた！！



人目を忍んで生息する、
奇怪な生命体！！
今夜あなたも
目撃者となる！！



我々の元に届いた
一通の手紙…
それはある生命体の
調査依頼だった



隊長「隊長！」
その時！奇しくも
同様の依頼がもう一件！



隊長「よし！いくぞ！」
隊長「行きましょう！」



我々はすぐさま
現地へ飛んだ！！



現場はいわゆる
高級マンション



これまで家で快適に
過ごしてきたという



専門家によると、
その捕獲困難な
生命体は



「粘着ローラー」により、
生け捕りに
できるのだという…



我々は
“粘着ローラー” に
一罐の望みを託し
潜入調査を開始した！



方位磁石さえ狂い出す
未知の秘境…
一体どんな生命体が
待ち受けていると
いうのか…



隊長「なんだあれは！」
その時！叫び声が！！



…なんと
我々の目の前に
白骨が！！



毛むくじらの怪獣が！



神田「ジーニーだめよ〜」





21

(NA)
懸命の調査は、
二人目の依頼者宅でも
進められた



22

緑川「よろしくお願いします」



23

隊長「もの凄い湿気だ」
我々の想像をはるかに超える
ジャングル…
道無き道を進んでいたその時、



24

隊長「あー！蛇だ！」
隊員が襲われた！



25



26

タコ足配線は危険なので
絶対にやめていただきたい



27

沖田「ここで目撃したんです」
その生命体は、
暗いほうが姿を
現しやすいという



28

カメラマン「え、動いてませんか？」
ご覧いただけたでしょうか？



29

その正体が、
ついに暴かれる！！



30

我々は専門家の指示に則り、



31

それぞれのご家庭で
その群れを
生け捕りにし、



32

その数、
生態を確かめるべく、
研究機関に精密な
鑑定を依頼した



33



34



35

研究員「これは大量に
いますね」



36

調査結果を伝えるため、
我々は再び依頼者の
元を訪ねた



37

カメラマン
「今この部屋には…」



38



39

大量のダニがいます！！



40

座椅子になんと…



ダニは、室温 25 度
湿度 60% を越えると
一気に繁殖しやすくなる



緑川さんは
部屋干しすることが
多かったのだ



しかし、
驚くのはまだ早い！！



快適な高級マンションで
あるはずの



神田さんの
お宅ではなんと！



神田さんは
ショックを受けていた



しかし！思い出して欲しい

これは、あくまでも
表面のダニを
採取したに過ぎない



内部を考慮すると、
更に大量のダニが
潜んでいることになる！



一見住み心地のよい
高級マンションのほうが、
実はダニが多いというのは
珍しいことではない
人間にとって快適な環境は、
ダニにとっても快適なのだ！
恐ろしいことに、
「あなたの家」も
例外ではない！



今回はダニの
繁殖力の恐ろしさを
まざまざと
見せつけられる
結果となった



だが、そのような
野生の脅威に対して、
ヒトが正しい知識を持ち、
文明の利器を
活用することで、
被害を最小限に
抑えることができる。



人智をもって立ち向かう、
それこそが、
我々人類に残された
唯一の道だからだ！



地球上の
すべてのご家庭に
平和が訪れることを
切に願ってやまない！



(タイトル)
調査したダニの数は、
ノンフィクションです。